

平成26年度 横浜都市発展記念館 特別展

オリンピックから半世紀

あこがれの「団地」～高度成長とベッドタウン横浜～

東京オリンピックと東海道新幹線の開業。日本の高度経済成長を象徴する二つの大イベントから今年でちょうど半世紀が過ぎます。

高度成長期には、地方から大都市へ、とりわけ首都の東京へ多くの人口が集中しました。その居住地は近県へ広がり、横浜市内でも農地や山林の宅地化が急激に進行しました。横浜は、東京のベッドタウンという特性を強く持つこととなります。

当時、開発された郊外の住宅地を代表するのが、中高層の集合住宅から成るいわゆる「団地」でした。主に入居したのは、その後の社会の主流となるサラリーマンです。「ダンチ族」と呼ばれた彼らの新しいライフスタイルが、日本人の生活を大きく変化させるきっかけとなります。

この特別展では、郊外の「団地」を中心に、高度成長の時代の都市横浜をふりかえります。



夏休みのラジオ体操（洋光台） 昭和47年 神奈川新聞社提供写真



恩田団地（多摩田園都市）と東急バス
昭和39年 東京急行電鉄所蔵写真

【会 期】平成26（2014）年10月11日（土）～平成27（2015）年1月12日（月・祝）

【休館日】毎週月曜日および年末年始（12/28～1/3）

ただし、10/13（月）、11/3（月）、11/24（月）は開館し、
10/14（火）、11/4（火）、11/25（火）は休館します。

【観覧料】一般300円／小・中学生150円

【会 場】横浜市中区日本大通12

【展示構成】

序章 東京オリンピックとその時代

第1章 首都圏の形成と横浜

第2章 横浜の郊外と住宅団地

「団地」のはじまり／私鉄の住宅地開発／ニュータウンの時代／「2DK」の住まい／住宅団地が建設されると

第3章 「団地」と新しい市民の暮らし

新しい住民「ダンチ族」／激しくなる通勤ラッシュ／家電で生活が変わる／住宅団地のコミュニティ／沸き上がる住民運動

終章 郊外・団地の現在と未来

【主な展示資料】 (総点数=約200点)



- ①団地と新幹線
昭 39、神奈川新聞社提供写真
- ②左近山団地
昭 45、横浜市史料室所蔵写真
- ③ナショナル扇風機
昭 36頃、当館所蔵
- ④団地の募集案内
昭 39、UR 都市機構所蔵
- ⑤多摩田園都市の開発趣意書
昭 28、東京急行電鉄所蔵
- ⑥国鉄のポスター
昭 40頃、当館所蔵

【関連事業】

(1) 展示解説

日時=10/19 (日)、11/16 (日)、12/14 (日)、1/11 (日) 午後2:00～

(2) 連続講座「高度成長を迎えた都市横浜」

第1回=11/22 (土) 「あこがれの住まい誕生～『2DK』とは何だったのか」

第2回=12/6 (土) 「高度成長と横浜の市民運動」

会場=横浜開港資料館講堂 時間=午後1:30～3:30

募集人員=80名 (多数の場合は抽選) 受講料=全2回1,000円

(3) ミニ劇場「昭和の団地スケッチ～横浜編」

日時=11/23 (日・祝) ①午前11:00～、②午後2:00～

12/7 (日) ③午前11:00～、④午後2:00～

出演=MTW (ミュージアム・シアター・ワークショップ)

会場=当館1Fギャラリー *観覧無料

(4) 写真パネル展「洋光台43年の今昔物語」

(「ルネッサンスin洋光台」フォトコンテストより)

会期=10/25 (土)～11/21 (金) および12/13 (土)～1/12 (月・祝)

会場=当館1Fギャラリーおよび旧第一玄関 *観覧無料

協力=「ルネッサンスin洋光台」今昔フォトコンテスト実行委員会、

UR都市機構、神奈川県、横浜市、磯子区

お問い合わせ先

横浜都市発展記念館

岡田 直 (展示)、神谷 量子 (広報)

Tel 045-663-2424